



2025年度 市政懇談会 〈南地区町内会・自治会連合会〉

次 第

[日時] 2025年11月4日(火) 18:30 ~ 20:00

[場所] 南市民センター ホール

司会進行： 市民部長 横山 法子
南地区町内会・自治会連合会 副会長 細川 客志

○ 連合会長の挨拶

南地区町内会・自治会連合会 会長 長谷川 義剛

○ 市長の挨拶

町田市長 石阪 丈一

○ 職員の紹介

○ 市政懇談会について

第1部 地域の議題に関する意見交換

- 1 境川周辺の水害対策の安全、安心について

【下水道部】

- 2 小学校統廃合に伴う通学時の安全対策等について

【学校教育部、政策経営部】

- 3 地域環境の防犯対策の安全、安心について

【防災安全部】

第2部 市政全般に関する意見交換

市長からの市政報告

○ 閉会の挨拶

閉会挨拶 南地区町内会・自治会連合会 副会長 専徒 康弘

**2025年度 南地区町内会・自治会連合会 市政懇談会
議事録(要旨)**

[日 時] 2025年11月4日(火) 18:30～20:00

[場 所] 南市民センター ホール

[出席者] 町田市長 石坂 丈一

政策経営部長 唐澤 祐一

防災安全部長 大貫 一夫

下水道部長 西澤 弘泰

学校教育部長 石坂 泰弘

市民部長 横山 法子

南地区町内会・自治会連合会長 ほか21名

事務局 市民部市民協働推進課 6名

南市民センター長 泉 武彦

司会進行：市民部長

南地区町内会・自治会連合会副会長

○連合会長の挨拶

○市長の挨拶

○職員の紹介

○市政懇談会について

第1部 地域の議題に関する意見交換

1 境川周辺の水害対策の安全、安心について

昨今の異常気象により線状降水帯やゲリラ豪雨等、水害の危険性が高まり、町田市の境川流域下流に住み、災害の影響が多いと予想される南地区住民の多くが境川水害対策の現状に大変な不安を感じています。

東京都では、洪水対策として洪水調節施設を整備することで1時間あたり65mm規模の降雨に対応を図っていますが、このところ南関東地域にはこれ以上の降雨量が頻繁にありました。境川金森調節池進捗状況、工事完了時期、

降雨何mmまでの量を収納しその量を超えた場合の具体的対応策はどうか、境川流域整備の現状を含め、住民が安心できる対応、対策をお聞かせください。

【回答】

下水道部長

境川では、2015年に策定された「境川水系河川整備計画」に基づいて、東京都管理区間ではおおむね30年間で時間雨量65mmの降雨に対応した整備が進められております。

この計画は、河川整備で50mm、調節池整備で5mm、調整池などの流域対策で10mm、合わせて65mm規模の降雨に対応するものとなっています。

河川の改修は下流から行うことが原則であり、鶴間小学校付近の鶴瀬橋から下流の神奈川県管理区間において、相鉄線との交差部や藤沢橋周辺で川幅が狭くなっている箇所があるため、河川の流下能力は全体でおおむね30mmとなっております。流域対策と合わせても40mm以上の降雨があった場合、洪水の危険性があるため、東京都は上流側の町田市周辺の安全性を早期に向上させるため、調節池の先行整備を行っています。

境川金森調節池につきましては、2014年に事業が開始し、貯留量約15万1000m³となる工事を行っています。現在の進捗状況等について東京都からは、「本体構築がおおむね完成し、現在、内部の附帯構造物等を施工中であり、別途工事で洪水時に川から水を取り込む取水施設である越流提工事や排水ポンプ等を設置する設備工事に着手し、2026年度の取水開始を目指し、2028年度の事業完了を予定している。」との回答をいただいております。

河川整備の進捗状況や降雨時間の長さによる影響もありますので、境川金森調節池の整備により何mmの降雨に対応できるようになるかは具体的にお答えできませんが、65mmの降雨があった場合でも2時間程度は川の水を取り込むことにより洪水を防ぐ効果があると考えております。想定以上の豪雨の際には市からの避難情報を活用し、避難行動への対応、協力をお願いいたします。

その他の境川流域の整備状況として、境川木曽東調節池につきましては、10月から取水を開始しており、2026年度の事業完了を予定しています。境川木曽西調節池につきましては、現在、工事に着手しており、事業の完了は、2035年度を予定しています。

町田市としては10月に河川整備を担当している神奈川県県土整備局河港課を訪問し、昨年度に引き続き境川の早期整備を強く要請してまいりました。

《質疑》

鶴間町内会

鶴間町内会です。

ちょうど鶴間小学校の際がうちの町内会になっていまして、何年か前にも水があふれ出て、川魚が道路に打ち上げられたりという経験があって、昔からその辺は洪水の地区なのですけれども、今の回答からすると2時間はもつ。その間、連絡が来てから我々の町内会の会員がどこに避難するかというと南第一小学校になるのです。鶴間小学校は、当然、水につかります。つかるところを徒歩で行くとすると、年を取った人も含めてですとどれくらいかかるのか。2時間といっても、連絡が来てというのは、多分、すぐには連絡が来ないと思うのです。担当の部長さんは自分ちの自席として回答されるようには聞こえないのですけれども、本当に住んでいる人のために今、回答されているのかどうかは疑問に思います。

それから、神奈川県に対して申入れしているというのはずっと聞き続けているのですけれども、どういう回答を得られたかが一向にこの場で会話されないのです。なぜ、向こうに申し入れて回答が返ってこないのかというところも疑問に思うのです。どういうふうに回答されたか、それに対して、町田市、東京都としてはどういうふうに県知事に申し入れるのかということが。

最初に1点目は、要は避難地区が少し遠いのではないかとということで、前々から鶴間地区に避難場所を設けてくれというお話も防災部長にしていますけれども、なかなか聞き入れてもらえないので、その2点に関してお答えいただけると非常にありがたいのですけれども、お願いします。

下水道部長

まず1点目につきまして、連絡が来てから2時間程度は取水で水がたまるまでには余裕ができるというお話をさせていただきましたけれども、このところの豪雨を考えると、完全に洪水を防ぐことができるような施設の性質ではございませんので、やはり雨の降り方の状況を早めに察知していただいて、取水を開始する前の段階でも早めの行動を取って避難をしていただくことに尽きるのかと思っています。川が絶対にあふれないようにするという対策を取るの是非常に難しいかと思っていますので、その辺は防災安全部とも連携しながら情報発信をしていきますので、そういった対応をお願いしたいと思います。

2点目の神奈川県へ要請した結果、どのような回答だったのかというところでございますけれども、先ほどお話をさせていただきました下流域の狭窄箇所が相鉄線の交差部が鶴瀬橋から下って大和の辺りにあるのですけれども、まず、1点目の相鉄線交差部につきましては、川が急に細くなっていて、さらに90度ぐらい曲がっている箇所があります。これを真っすぐに整えることにより水の流れをよくしていくという工事に昨年度から着手していまして、2029年度にこの工事は完了する予定になっています。ですので、下流域の狭窄部

のうちの一つは解消する見込みになっています。

ただ、先ほどもお話をさせていただきましたけれども、川の一番下のほうに藤沢橋がありまして、ここは下流域にもかかわらず川幅が15mぐらいしかない非常に狭くなっているところです。この計画はどのような計画がされているのかということですが、非常に狭い上に川幅ぎりぎりのところに民家が密集して建っていますので、それを別の場所に移っていただいて川幅を広げるというのが非常に困難、神奈川県としても無理だろうということになっています。どういうことを考えているかというと、狭窄部の上流、下流は川幅が広がっているので、上流部で1回分岐させて、上からは見えないのですが地下にもう一つ、バイパスの大きな川の流れをつくるという工事を計画しています。神奈川県の方も、計画に基づいて、どこで分岐させて、どこで合流させるのが合理的なのかといった調査を今、しているところでございます。ただ、分岐、合流のところも民家があるので、具体的にプランができて、その後、地元調整があつて、計画、工事という流れになりますので、かなり時間がかかるものと聞いております。

もう一つ、市からお願いしていることとしましては、藤沢橋が原因で30mmの流量しか流れないところで河床を深く掘ることによってもう少し流せるようにならないかとか、そういった検討もしてくださいというお願いをしています。ここは少し改修して、あと、その上流に境川遊水地がありまして、ここはかなり広い遊水地で、先ほどの金森の調節池は15万立米だったのですが、ここは100万立米を超えるような水がためられる遊水地になっています。この機能と併せて、今30mmに絞っている東京都管理区間についても少し広げられないかという調整を神奈川県と東京都でしてくださいというお願いを今、しています。

回答としてはまだいただけていないのですが、下流のほうの流れるようにならないと、藤沢の辺りが大洪水を起こし、何万世帯も水没することになるので、東京都管理区間は既に川の大きさとしては50mm流れるようになっているのですが、今30mmに絞っている状態です。そこを少しでも広げていけるようなことができないかというところで、今、神奈川県に対応をお願いしているところになります。神奈川県も予算的に結構厳しいという状況は聞いているのですが、現在の国土強靱化の流れで補助金が以前よりも多少つきやすくなっているので、何とかこの機会を捉えて進めていきたいということです。相鉄線のほうも事業費としてはかなり莫大にかかるのですが、国の国土強靱化の補助を受けて実施していると聞いています。川の整備はかなり時間がかかって長期間を要するので、全然進んでいかという肌感覚はごもっともかと思いますが、一応、そういう取組をしているということでご理解いただきたいと思います。

鶴間町内会

一番目の質問で少し私の言い方が悪かったようなので、回答が少し外れていたような気がするのですけれども、要は、私としては避難場所を近くにつくってほしいということを行っているわけです。早めに避難すればいいとおっしゃるので、どの時点が早めかというのは、今、いろいろなニュースとかで見てもなかなか判断が付きづらいので、徒歩ですつと避難できる場所をつくっていただく。先ほど言ったように川は広げられない、そうすると逃げるしかない、逃げる場所として南第一小学校は16号を越えて相当遠いので、町内会に避難場所をつくっていただきたいということですが、検討いただけないでしょうか。今の回答で、これで終わるようにします。

防災安全部長

鶴間の避難場所は、南第一小学校というところもあるのですが、今のゲリラ的な豪雨に関しては、今の調節池の関係の中でのみ込みが、2時間程度の間を見ていると、そういうふうにもみ込むのかと思っているのですが、台風に関しては、これから台風が接近してくる場合については、こちらも待機体制を取っている、我々も防災WEBポータルの中で避難指示等を出しております。また、防災行政無線も、雨の中、聞きづらいというのはあるかと思うので。そういった場合については、防災WEBポータルを見ていただきながら、高齢者等の事前の避難を早めに出せるような対策はこちらもしております。

あと、避難場所という部分では、南町田グランベリーパークパークライフ棟が風水害時の避難施設となっております。

(司会) 地区連合会副会長

ありがとうございます。

私から1点だけ手短かに。65mm対応とか、金森100万立米ということがありますけれども、この取水の運用方法は、少し細かいことをお聞きするのですが、あらかじめ天気予報で分かると思いますけれども、仮に西田地区が満杯になる可能性があるときに、取水口はどなたが開けたり、また1時間80mmとか降って10分ぐらいたったときに7割が満水になったときに放出するとか、あと先ほどの神奈川の100万立米の連携は取れているのでしょうか。よろしくをお願いします。

下水道部長

まず、調節池の仕組みなのですが、基本的に川の満水になる高さより少し下に取水口、先ほど説明の中で触れました越流堤というものがありまして、川の一番トップより少し下がったところに調節池の穴が空いているので

す。ですので、取水口を開けて取り込む、取り込まないの判断をするのではなくて、川の水が超えてきたらそのまま流れ込む仕組みになっています。流れ込んだ水を今度排水するときはどうするかというと、台風が過ぎ去った後、川の水位が下がった状態になったら、調節池の場合は川よりもかなり深く掘っているので、ポンプアップして川のほうに水を落としていくということで、台風の最中にポンプで戻すことはなくて、完全に終わった後にたまった水を排水する流れになります。

神奈川県のところでは、基本的にポンプアップしなくても下流域に行くとそのまま川と同じ高さになるので、一旦はたまるのですけれども、絞った水が少しずつ流れていって、最終的には空になります。

(司会) 地区連合会副会長

分かりました。あまり細かい調整ということではなくて自然な取水と。ありがとうございました。

2 小学校統廃合に伴う通学時の安全対策等について

(1) 具体的に、通学距離が何km以上、対象学童数が何人になればスクールバスの運行を始めるのか、また南第一小学校児童の通学が長距離となる場合、路線バスを利用した施策はどのような内容になるのでしょうか。

(2) また、統廃合後の校舎・跡地はどのようなになるのでしょうか。

【回答】

学校教育部長

初めに、「通学距離が何km以上、対象学童数が何人になればスクールバスの運行を始めるのか」について、お答えいたします。

市では、「町田市新たな学校づくり推進計画」に基づく学校統合に伴い、児童生徒の通学等の負担軽減を図るため、「(仮称)学校統合に伴う通学等に関する基本方針」の策定を進めております。この基本方針は2026年3月に策定する予定でございます。

通学負担軽減策の検討に当たっては、「町田市新たな学校づくり推進計画」において通学時間の許容範囲はおおむね30分程度、通学距離の許容範囲は徒歩でおおむね2km程度を目安としていることから、検討対象は、学校統合によって徒歩での通学距離が2kmを超える児童・生徒としています。

また、スクールバスやタクシーの運行については、対象児童・生徒が通学において路線バスが利用できない場合に検討します。

通学負担軽減策の検討において通学距離の観点でお答えしますと、南地区町内会・自治会連合会の区域における新たな学校づくり推進計画では、第2期の2030年度の南第四小学校の仮校舎への移転及び2034年度の南第三小

学校と南第四小学校の統合がございます。

また、2033年度以降に基本計画の検討を開始する第3期では、つくし野小学校と南つくし野小学校の統合がございます。

第2期の南第三小学校及び南第四小学校については、徒歩での通学距離を検証した結果、仮校舎期間及び新校舎使用開始後の通学区域において通学距離が2kmを超える地域はないことから、スクールバスやタクシーの運行は考えておりません。

また、第3期のつくし野小学校と南つくし野小学校の学校統合については、2030年度頃に改めて検討いたします。

次に「南第一小学校児童の通学が長距離となる場合、路線バスを利用した施策はどのような内容になるのでしょうか。」について、お答えいたします。

南第一小学校の児童の通学が長距離となる場合とは、南中学校に建設する仮設校舎へ移転するときに考えられます。

市では、公共交通を利用して指定校または特認校に通学する場合、通学距離が自宅から小学校までおおむね1.5km以上ある場合は通学費補助の対象となります。

具体的には、南町田四丁目の市立鶴間橋公園付近、南町田三丁目先の小川原交差点付近が対象エリアになると想定しています。

補助については、定期代金の3分の2の額を支給いたします。神奈中バスの1か月分の小児定期券を購入した場合、定期代金2570円の3分の2の額である1710円を支給いたします。

政策経営部長

新たな学校づくりによって、市域全体では、小学校・中学校合わせて20校が、将来的に学校跡地として利用が可能になると見込まれています。

南地区においては、先ほど学校教育部長からも説明がありましたとおり、第二期に南第三小学校と南第四小学校が、第三期につくし野小学校と南つくし野小学校が、それぞれ統合を予定しており、このうち南第三小学校と南つくし野小学校が、跡地となります。

この新たな学校づくりに当たっては、「地域活用型学校」として、学校教育の場や身近な避難施設としてはもちろん、地域の活動拠点となることを目指しております。

跡地においても同様に、地域の活動拠点としての役割を維持してまいります。

具体的には、避難施設の機能を継続するほか、地域の皆様にご意見を伺いながら、必要なサービスや機能を検討いたします。

また、校舎などの建物につきましては、老朽化が進んでいることから、原則取り壊すこととしていますが、その建物の状態や、まちづくりの視点、社会、

地域の状況等を踏まえ、学校ごとに個別に考えてまいります。

この学校跡地の検討は、それぞれの地区において、新しい学校をつくるための基本計画の検討着手に合わせて、活用の検討を開始いたします。

南地区においては、まず、来年度、2026年度から、南第三小学校の跡地活用について、検討を開始いたします。

地域の皆様とともに活用方法を検討してまいりますので、ご協力のほど、よろしく願いいたします。

《質疑》

金森一丁目町内会

金森一丁目町内会です。よろしく願いいたします。

3点ほどお伺いしたいことがございます。

1つは、まず、三・四小の統合に関しまして、数年後から子どもたちの数が大幅に減ることが大分前からご説明があったのですが、私はネットや何かで調べてみたのですが、人数減少の根拠がいま一つ分からなかった。確かに折れ線グラフでこれから減るといことは出ていますけれども、人数減少の根拠は間違いないのでしょうか。まず、そこが1点、非常に疑問です。今でも三小はかなりの人数の子どもたちがいますので、これが四小と統合した場合、そんなに減らなかったということになると、私が都立高校の教員をやっていたときに、町田のほうの高校生が減るからということで、都立高校を1校減らすという話があったのですが、ところが、減らなかった。1校減るといのがなくなった覚えもありますので、その人数の根拠を、まず1点、お伺いしたいです。

それから2点目、今、四小まで2kmを超す子どもたちがいないとおっしゃいましたけれども、これは確かでしょうか。私は今、金森一丁目に住んでおりますけれども、20数年前ですが、私の娘は1人、自閉症です。それで、私のうちから三小ですと10分かからずに行けます。でも、私の子どもが自閉症であったために四小の特別クラスに入れていただきました。そのときにかみさんがいつもついていったのですが、やはりかなりあるよと。それから、私自身が10年ほど前に小川高校で講師をやっていたことがございまして、もう四小のすぐそばです。かなりの歩きですが、それから、バスが使えるとおっしゃいましたけれども、例えば私のところからですと、最寄りのバス停から一つバスに乗ったとしてもあまり変わらないのです。神奈中バスは、四小や小川高校に行くには非常に不便なところを通っております、あまりうまく使えないような気がいたします。ですから、今の暑さ、それから猛烈な雨、そういったことを考えた場合、まず、小学校1年生は幼稚園を出たばかりですから、そこを歩けるものかどうか、そこをお伺いしたいと思っております。

それから3点目、ずっと小学校のことで話が来ていますけれども、南中学校が、いろいろな小学校の代替地に充てられたり、そのほか、10年以上、南中学校が普通に活動できないような状況になっている気がします。私は、南第三地区青少年健全育成地区委員会、長い名前の委員をやっておりまして、小学校6年生を南中で受け入れていただいて、クラブの経験を積むということが去年までできていました。これが、これ以降、全く目途がつかずに中止になっております。南中学校の教育は大丈夫なのか。

この3点を伺いたいと思います。

学校教育部長

まず一番最初が人口減少の根拠なのですが、2030・2040年度までは児童・生徒数及び学級数推計をやっていまして、開発の具合とか、そういうのも全部入れていって、どのぐらい増えているとか、そういうのをやっています。なので、2030年度までの児童・生徒数及び学級数推計における増減傾向等は概ね外れないのです。そこから先になってきますと、コーホート要因法とか、そういうのを使いますので、少しずれたりするのですが、2030年度までの数字についてはほとんどずれない。南三小と南四小の統合は2026年から検討を始めて、新校舎の開設は2034年なのですが、おっしゃるように、その頃に南三小と南四小につきましては激減するわけではないのです。ただし、両校が小規模化し、今後も児童数が減少していくことが見込まれますので、2つ統合してちょうどいいぐらいの学校になると考えております。ですから、根拠といいますと、児童・生徒数及び学級数推計が一番の根拠になっています。

あと、2番目の2kmを超えないところが本当にあるのかというお話なのですが、こちらは、先ほど言いました学校統合に伴う通学等に関する基本方針を今策定しているのですが、第2期の全ての地区におきまして検証しております。それで、何か所かはそういうところが、2kmを超えても公共交通機関があるとか、そういうことなのです。スクールバス、スクールタクシーを入れるかどうかの判断をしていますので、2kmを多少超えても公共交通機関を使えば何とか行けるところに対しては、スクールバス、スクールタクシーの対象からは外させていただいています。ただ、今回の三小、四小については、測ったところで行きますと2kmを超えるところはないという判断をさせていただいております。

南中に関しましては、ご不便をおかけするとは思っております。ただ、あそこは、まず、校庭がすごく広いというのが一つの特徴としてあります。あと、南地区の改築をやっていくときに、南地区はどうしても代替地がないのです。ほとんど学校用地として取ってあるところがないという段階ですので、同じ学校の中で建て替えようにも、同じ学校で仮設をやっていると、今

度は小学校で一切運動ができないとか、そういう感じになってしまいます。今のところ、計画では、一部分を小学校の校地という形で取っても教育上は差し支えない程度、ただ、現在、いろいろな部活動が盛んということはもちろん承知しており、南中と調整し、一部の部活動では代替地を確保したりしているのですが、そこら辺の制約は出てしまうと思っておりますが、学習上は問題ないという判断をしております。

金森一丁目町内会

時間があまりありませんので、急いで申し上げますけれども、交通機関は、先ほど申しましたとおり神奈川中央交通のバスで行く場合には、確かめていただきたいのですけれども、四小に行くのに非常に不便です。ですから、公共交通を利用すればとおっしゃっていますが、私は1年生、2年生ぐらいの子どもたちを中心に考えていただきたい。5年生、6年生になればかなり大丈夫だと思います。ただ、1、2年生となると、まだ幼稚園生とさほど変わらない状況、そこで、果たして歩いて行かれるのかどうか、そここのところをもう少し検討していただけるとありがたいと思います。よろしく願いいたします。

(司会) 地区連合会副会長

ご検討ということで、またよろしく願いいたします。確かに距離的に2kmないです。私も測りましたが、1km二、三百mぐらいでした。

3 地域環境の防犯対策の安全、安心について

南地区では、近年不法侵入による窃盗や放火などが発生しており、近隣住民は不安を感じる日常生活を送っています。

町内会としても、平時から防犯パトロールなどに取り組んでいます。しかし、高齢化などの理由から人員確保が困難となっているため、公的な対策として防犯カメラの増設設置などを求めます。

【回答】

防災安全部長

市が屋外に設置している防犯カメラとしては、道路や公園などで施設管理を目的にする防犯カメラや、教育委員会の通学路防犯カメラなどがあります。

また市が直接、防犯カメラを設置する以外の取組としては、警視庁が公表している刑法犯認知件数などの状況から、防犯上、特に対策を行うべき犯罪発生率の高い地区、具体的には、警視庁が発表している年間の「町丁別刑法犯認知件数」において、過去5年間の発生総件数及び過去5年間の1000人当たりの発生件数が、共に多いほうから20位以内の町丁目にある町内会や自治会か

ら街頭防犯カメラの設置要望があった場合は、当該防犯カメラの設置に関する費用の一部を補助しております。

先ほどの警視庁が公表している刑法犯認知件数でございますが、2024年の刑法犯認知件数を見ると、一番多い地区は町田第一地区で463件、2番目が町田第二地区で436件、3番目が鶴川地区で353件、4番目が南地区で291件となっております。町田市内では「自転車盗」「万引き」「詐欺」の認知件数が多く、この3つで全体の52.4%を占めております。そのため、鉄道駅や自転車駐輪場のある区域、商業施設・繁華街のある区域で犯罪認知件数が増える傾向にあります。

そのようなことから、南地区では南町田グランベリーパーク駅があり、区域のほとんどを南町田グランベリーパークや鶴間公園が占める鶴間三丁目が補助制度の対象地区に該当しております。町内会・自治会が鶴間三丁目の区域内に街頭防犯カメラを設置する場合は、補助金の活用をご検討ください。

また、2025年度は、空き巣や闇バイト強盗、不審な業者などによる侵入犯罪を防止するため、個人住宅で防犯カメラやカメラ付インターホンなどを設置する場合の費用の一部も補助しています。10月27日からは補助件数を1000件追加して、補助申請を受付しております。ぜひ、本補助制度を活用いただき、個人でできる防犯対策を強化していただくようお願いします。

《質疑》

(司会) 地区連合会副会長

では、私のほうから1点だけ、特殊詐欺関係はどのような感じになっていきますでしょうか。

防災安全部長

特殊詐欺は、先ほどの件でも詐欺と書いてございましたが、町田市の町田警察署が管轄する部分においては、10月26日現在の集計が今出てきました。これが111件、5億8947万円、5億円に行ったのは初めてです。今までの最高が4億円でした。今回は4億円を突破して、今、5億9000万円まで行ってしまっていると。あとまだ2か月ございます。もしかすると、これは6億円まで行ってしまおうと。

そういった詐欺の中でも、言葉巧みな連絡があって、我々行政の職に就いているということから発しているような、税務署、市役所、警察だったりというような、顔は見えなくて電話だけでのやり取り、しゃべり方が上手なのです。俺だよ、俺だよという感じですがごく上手にやって、あれっと思いつつも、つい、その話を聞いてしまう。長く聞いてしまうと、皆さんからのやり取りの中で、相手に情報を流してしまっている部分があるのです。私の家の息子がねという話がちらちらやり取りの中で出てくると、犯罪をしている

犯人はそういったところを聞いているのです。ここの家は子どもさんが2人いるのだ、ここの家は1人いるのだと、その電話を聞きながら、多分、隣にそういった輩がいっぱいいるのだと思うのですが、その電話のやり取りを聞きながらどんどん言葉巧みにやっていくのです。警察、消防、あと市役所の職員が長電話で状況を聞くなんて基本的にしませんから、我々は、市役所に来てください、警察に来てください、消防だったら消防に来てくださいということのほうが多いのです。電話で長丁場でお話しするのは、個人情報をそんなにやり取りをしないですから、だから、十分にそういった電話には気をつけていただくと。

あとは、留守電にしていただければありがたいと警察が言っていました。やはりそういった重要な電話であれば、ちゃんとかけてねと留守電の中に入れてくれるらしいのです。でも、そういった詐欺の人たちは留守電にしているとすぐ切ってしまいます。録音されてしまうとばれてしまうので、それを避けるために録音のブーっという音があるとすぐ切ってしまうらしいです。でも、そういったところがあるので、できれば、皆さん、町内会のほうにも留守電にしていいただいて、大事な電話は折り返しまた来ると思いますので、あとは録音もされていると思いますから、その録音を聞いていいただいて、その方にまたお電話をしていただく形のほうがいいと町田警察署が言っていました。

町田警察署の管轄は、南大沢警察も隣にあるのです。小山、相原、小山ヶ丘は南大沢警察署、それ以外が町田管轄のところ、警視庁でも2番目に人口が多いエリアらしいので、詐欺被害の金額もワーストワンです。警視庁でワーストワンということは、全国で1番だということでもあるので、この話を聞いて持ち帰っていただいて、このようなことがないようにというのをぜひ会長の皆様が言っていただけるとありがたいかと思います。

(司会) 地区連合会副会長

今日お見えの方のところにも電話がかかってきたような、でも、最近は今お話があったように留守電に切り替えている方も多いと思います。その割に被害件数が多いと感じました。

それでは、四、五分、まだありますので、1、2、3の議題で総合的に何かご質問があれば1点、2点、お受けしたいと思いますが、いかがでしょうか。

金森一丁目町内会

金森一丁目町内会です。お世話になっています。

先ほど、小学校統廃合に伴う通学時の安全対策についての中で、南三小の統合によって南三小がなくなる、その跡地を利用して避難所も兼ねるような

お話でしたけれども、その辺のタイムラインはどのようなふうになっているのでしょうか。

政策経営部長

お答えいたします。

南三小は、避難施設として指定されております。基本的に、建物の老朽化を受けて、校舎についても取壊しになろうかと思えます。そういうところも踏まえまして、避難施設としての機能は引き継いでまいります。どういう形で残していけるのかは今後の検討の部分かというのは1つございます。

ちなみに、本町田に町田第三小学校がございまして、ここも建物を壊してしまうのですけれども、避難施設としての機能をどのようなふうに残していけるのかは、まさに地元の方とお話をしながら、よりよい形になるように今検討を進めておりますので、南三小についてもいろいろやり取りをさせていただきながら考えてまいりたいと思っております。

金森一丁目町内会

はっきりしたタイムラインはないのですね。2039年に四小のほうに移ってしまいますよね。その前に、たしか南中のほうに行くのでしたか。その辺のところ、いつ壊し始めて、その間をどのようなふう避難施設とするのかとか、その辺を教えてください。

政策経営部長

南四小、南三小の統合が2034年4月になります。2034年4月までは南三小がありますので、具体的に建物を取壊したりということについてはそれ以降、ですから、10年以上先になります。ただ、どうしようかという検討については、それから考えるのではなく、基本的に来年度から少しずつお話を詰めていきたいと思っておりますが、時間としてはまだ少しありますので、早めの検討にはなりますが、時間をかけて考えていきたいと思っております。

金森一丁目町内会

金森一丁目町内会です。

今の続きなのですが、我々の一丁目は、東京都から木造密集地区という大変不名誉なものをいただいております。火事になったときにパーハウスが、木造が多いということで火災が非常に心配という形になっています。

その中で、町田市は、基本的におうちのほうに避難してくださいという話になっているわけなのですが、そのおうちが非常に燃えやすいという形に

なっておりますし、また、消防自動車がなかなか入りづらいような狭い道路幅です。そういった中で、南第三小学校が唯一、避難の形としてはあるところですので、これが学校の統廃合によってなくなってしまうことになったときに、一番燃える可能性が高いところからどうやってみんなを避難させるかというところが出てきてしまうものですから、このところも十分にお考えいただいて、早めな形の結論を出していただけると助かると思います。

政策経営部長

では、そういう地域の実情なども、これから検討を進めていく中で、市からお声がけというか、お話ししていきたいと思えます。ぜひそういう地域の実情もその中でいろいろ聞かせていただければと思えます。よろしくお願ひします。

(司会) 地区連合会副会長

南地区で金森一丁目さんは1981年の建築基準法改正以前の家が多いということで、東京都からも、再三、感震ブレイカーの設置とか、唯一連絡いただいているところなので、そういったところからも第三小学校がなるべく避難所になったらいいかという感じはいたします。

もう1点、私から、防犯カメラは、防犯対策といえますか、検挙率も比例して上がっているということで、今現在、学校の周りに4台、5台とか、公共施設、公園、自治会館の周りとか、まだ防犯カメラを増設する余地はあるのでしょうか。いかがでしょうか。

防災安全部長

防犯カメラを増設する余地があるかどうかという部分については、今、犯人を捜査する中でも、結構、防犯カメラをずっと追っかけ、追っかけでやっております。そういった中では、必要性が非常に高いものであるということで、できればこちらのほうも皆さんのご要望と合わせた形で補助の活用と、それ以上にもそういったものの設置ができるかどうか、また研究しながらいきたいと思っております。

学校教育部長

防犯カメラでいきますと、多いのが学校の昇降口につけているのと、あと通学路に各学校はつけています。それは児童生徒の安全のためにということでやっておりますので、基本的には通学路とか、そういうところにつけています。今回、このように学校統合をしていると、通学路が変わったりしますので、それに合わせたカメラの配置は検討しています。ただ、増設というわけではなくて、移設とか、そういう形での利用になると思えます。ただ、実

際、幸いなことに児童生徒が事件に巻き込まれて使ったことはありません。

(司会) 地区連合会副会長

いずれにしても、有効活用ができそうなものはまたご検討をよろしく願いたいと思います。

第2部 市政全般に関する意見交換

市長からの市政報告

それでは、第2部ということで、午後7時35分なので15分ぐらいということで、全部をやっていると午後8時を過ぎてしまう。

まず、東京都立町田児童相談所、今年6月に、木曾山崎団地、山崎保育園の隣にできました。もとはといえば八王子児童相談所、例えば金森なら金森のお宅まで八王子の児童相談所の職員が来て、お話を聞いて、また八王子まで帰るということで、八王子児相の方、とりわけ町田担当の方は大変苦勞していたということで、分割して町田児童相談所ができた経緯がございます。

次に、成瀬子どもクラブは、2026年、令和8年3月の予定で、今の成瀬コミュニティセンターの隣にできます。もうほとんど建ち上がっていますけれども、残工事は内装と外構だけになっていますが、3月、オープンです。

それから、新たな学校づくりの話ですが、先ほど来話題になっております南第一小学校と南中学校です。石坂部長から話がありましたとおり、南中学は結構広いのです。言い方は悪いが、便利に使わせてもらうというか、建て替えとなるとほかに場所がなくて、南第一小学校は別に統合するわけではなくて、老朽化していて建て替えるのですけれども、結局、仮校舎の場所とか、そういうのがなくて、南中学には本当に迷惑がかかっているのですが、そういう造り方をしておりますので、ご容赦いただきたいと思います。

次に、今年の1月から学校給食が無償化、ただになりましたというだけです。これも、東京都が8分の7を負担して、町田市が8分の1を負担して、親御さんが8分の0になった経緯がございます。給食センターは、つい先月からクリーンセンターの横でスタートしています。この間行ったときには、まだ決まっていませんけれども、屋上で花見をしようという話になっていました。ただし、みんな乗っかってしまうと大変だから、お金を取ろうではないかという話をしていましたけれども、屋上で花見ができるような造りになっています。でも、1週間ぐらいしか見られないと思いますけれども。

それから、高齢者の話ですが、合掌苑とか、いろいろありますけれども、特別養護老人ホームは今、申込み後1年以内で大体95%が入れます。資料にもありますが、2009年のときは45%ぐらいで、当時は2年、3年待つのが当たり前ということだったのですが、今はもう待つことがあまりないです。申

し込めば1年以内に大体入れてしまう、普通は半年ぐらいで入れてしまう。ただし、こういうのは、立川から東の東京都では、町田以外はないです。立川から東になると、さっき言ったように2年、3年待つのは当たり前、さらに東に行くと23区になると、都内ではありません。大体、茨城、栃木、群馬のほうに特別養護老人ホームがあって、そちらへ入ってもらう。少し遠くなると山形、秋田のほうになる。特別養護老人ホームに市内で入った人の話では、やはり昔の飲み友達とか、いろいろな人が来てくれるのはありがたいという話ですが、23区ではそのようなことは夢のような話で、相当遠くまで行かないとありません。実際の通常のそれ以外の介護そのものも23区は介護難民というか、介護がなかなか受けられない状態です。

続いて、スポーツ公園、先ほど来話題になりました西田・金森調節池公園です。毎年というのは変なのですけれども、毎年、半年ぐらい延びていて工期ももう2028年度になってしまいました。これはほとんど契約不調です。南東建が発注しても手を挙げる業者がないということで工事がなかなか進んでいない。本当は2026年度ぐらいの話だったのですが、もう2年ぐらい先に延びています。大分上がってきたから、もう延びないとは思うのですけれどもね。

私は昔、港北区の港北区長をやっていたのです。港北区には鶴見川多目的遊水地が二、三十haぐらいありまして、競技場、今、日産スタジアムの面積が全体の5分の1か、6分の1ぐらいの広いところがあって、私がいたときにちょうど台風が来まして、鶴見川から鶴見川の遊水地に水が入ってくるのです。国土交通省の24時間の監視カメラがありまして、堤防が20mぐらいの高さにわたって少し下がっているのです。2mぐらいの深さに下がって、そこから毎秒何百トンという水が遊水地に入ってきて、調節池になっているところにスタジアムがあるものですから、スタジアムに止めていた車はみんな浮いてしまいました。スタジアムのグラウンドのところには来ないのですけれども、グラウンドの下は全部水で、駐車場も全部水で、台風なのに駐車場に置いてしまった車は全部浮いてしまいました。それで、翌々日になってやっと本川が下がりますよね。今度は調節池から本川に流す、水門から向こうへ水を引いて、だけれども、野球のグラウンドとか、いろいろなものがあつたところは全部泥になって、しばらくは使えませんでした。物すごく泥が入って、どうにもならない。多分、西田のものも水と一緒に泥がばあーっと入ってくるから、1回入ると結構大変です。なぜかという、泥の分がのみ込む量が減ってしまうから、早く出さないと機能しなくなってしまうので、そのくらい実際に水が出ると非常に怖いのです。

それから、町田木曾山崎パラアリーナ。体育館をつくる計画になっていまして、障がい者スポーツの利用者が優先、健常者は障がい者スポーツの優先が終わった後、空いていれば申し込めるということで、パラアリーナという名前に

なっています。

それから、次に、国際工芸美術館とか、芹ヶ谷公園の中にエレベーターを造るとか、今、これもまたまた延び延びになっています。入札不調を繰り返して、エレベーターは特に最近のエレベーターはなかなかうまくいかなくて、今度、成瀬駅の南側にエレベーターとエスカレーターがあるのですが、エスカレーターは半年ぐらい、エレベーターは2年ぐらい動かなくなる。基本的にエレベーターは部品の供給ができないのはどこでもそう。先ほど中学校給食の話もしたのですけれども、給食を上げるエレベーターも受注してくれるエレベーター会社がなく、学校給食の食缶を手で運んでいます。階段を上がっていると言ったほうがいいですかね。ですから、今、エレベーターの事業は学校給食にまで及んでしましまして、価格の折り合いがつかないのだったらまだいいのですけれども、手を挙げていただかないことには何ともやりようもない、交渉もしようがないという状況になっています。芹ヶ谷公園のエレベーターも2028年度の供用開始と書いてありますが、大丈夫かと今思っています。

それから、鶴川駅は、今、駅舎を上を持っていく工事をやっています。南町田グランベリーパーク駅みたいな感じで上に屋根をつけて、橋上にして、北と南を大きな通路にするという、南も、北もエスカレーター、エレベーターを使って降りるといって工事をやっています。一緒に南口側の土地区画整理事業もやっているの、かなり大規模な再整備を鶴川駅はやっています。

それから、次が資源ごみの処理施設です。こちらの皆さんは、既に、9年前からプラスチックの分別をさせていただいております。ピンクの袋に入れていただくということで、来年の4月から、町田市全域がプラスチック分別になります。そうすると、容器包装プラスチックの資源ごみを処理する施設が藤和のマンションのところ以外は市内にもうないので、相原に計画していますが、多分、2032年ぐらいになってしまうのかと。それまでは川崎のほうに持っていくということで、輸送費で億単位のお金がかかるという状態で、早くできないと、ずっとそのお金がかかり続けることになっております。

最後に、デジタル化ですが、今、スマホでほとんどの申込みはできるようになりました。支払いの決済もスマホでできるようになりましたので、若いお父さん、お母さん方は全部、保育園もみんな、スマホ1個でやっています。そういう意味では、役所に来ることがあまりないとなりました。

ということで、報告で、少し飛び飛びになりましたが、以上で終わります。

《質疑》

小川自治会

小川自治会です。

小川地区には小川会館というのがあって、うちの自治会だけではなくて近隣の5自治会で共同運営しているのですけれども、先日、雨漏りをしてしまった

のです。5年に1遍、市から補助が出る改修があるので、それは事前に計画を立てて自治会のほうでも各自治会が協力してやろうと考えていたのですけれども、雨漏りは予想していなかったもので、実際、現在、バケツを3か所ぐらいに置いて、昨日見てきたら、昨日はまだ大丈夫だったのですけれども、そのような状況なのです。

取りあえず、NPOの指定管理者には見ていただいて、まだ見積りは出ていないのですけれども、金額が分からないので何とも具体的な話はできないのですけれども、業者に見てもらった感じでは足場を組まないと、屋根の雨どいから水がたまってしまうみたいなので。まず、正直言って、まだ金額が出ないのでご相談のしようがないのですけれども、5年ごとの補助だとある程度こちらも計画しているのですけれども、こういう雨漏りみたいな急激なものはなかなか事前に予測できないので、ぜひとも、一応、市民協働推進課さんには事前に、まだ金額が出ないので具体的な話はできないのですけれども、今年度はかなり予算が厳しいというお話なので、ただ、雨漏りとかはほっておくわけにいかないなので、この場を借りて市長に申し上げたいのですけれども、別枠みたいな形で緊急時のもののご対応をご検討いただければありがたいと思いますので、一言、よろしく願いいたします。

市民部長

市長のほうによろしく願いいたしますと言っていたのですけれども、私からお話をさせていただきます。

緊急修繕というところで、やはり予測をしないものもありますので、そこらへんはご相談、金額が出ていないということなので、あと、雨漏りはなかなかどこが原因というのが分かりづらいところなので、ここかと押さえても、水の流れが変わって、またそこから落ちてくるというものもありますので、それは工事の中でご相談させていただこうかと思っておりますので、よろしく願いいたします。

金森三丁目町内会

金森三丁目町内会です。

ご報告いただいた内容での質問ではないのですけれども、市長さんがいらっしゃるところで、昨年度、私のほうから、市長への手紙というウェブサイトを利用して2つほど提案させていただいた件があったのですけれども、具体的には、ご近所トラブルを解決するヴァンガードスミスという新興の会社があって、500円ぐらいの負担で近所トラブルが発生した場合に警察や弁護士等のリソースを使って解決するというビジネスモデルです。1件、個人が500円月額で負担してというものよりも、大きな単位でプールして契約を結ぶような形がよりリーズナブルではないかと考えて、例えば、行政であるとか自治体みたいな単位で契約するようなビジネスは進められないかと、向こうの営業

担当にも直接話を振ってみたのです。この件について、北九州市か何かだと市営住宅などのトラブルに活用するというので、そういった民間のサービスを利用していると。例えば、実際に住民同士のトラブルに行政職員が当たったような場合の職務負担もアウトソースできるビジネスとして有効なのではないかということで、市長への手紙として出していたのです。

これは、事前には、市民協働のご担当の方にご相談にも上がって真摯にご対応いただいていたのではあるのですが、ただ、やはり現場レベルから稟議書等を上に上げていくのは、予算もつくことです。かなり大変になるのではないかということで、市長への手紙でご提案させていただいたのです。まず、ウェブページには24時間以内に返信がありますとあったのですが、結局、回答はなかったのです。それに対して私は広聴課のほうに電話をしたら、届いていなくてということで市民協働に戻ったのです。結局、これは町内会だから担当が市民協働だということで、そちらに回ってしまっているわけです。逆に、市民協働に言っても機能しないから市長への手紙、トップダウンのところにピッチしようと思ってやったにもかかわらず、結局、担当のところに戻されて、ご担当の方から電話での返答という形で来てしまった。

だから、本当に市長への手紙が機能しているのかどうか、例えば某兵庫県の県知事で、県知事に問題があると進言したら、県知事がそれを潰しにかかったみたいな、問題があるところを飛び越えて問題提起したいと思っている、そういう趣旨でつくられているであろうと想定している市長への手紙が、担当レベルに戻って、全然、市長レベル、トップレベルへのアウェアネスが伴わないようなことであるのだとしたら、結局、ガス抜きでしかないのかと感じてしまったのですけれども、市長がいらっしゃるので、そういった提案を実際ご覧になっているのかをお話しいただければと思います。

町田市長

仕組みとしては、市長、副市長のほうで中身を見ているのです。指示する形になっているのだけれども、実際に担当のレベルでもできないという結論がありますよね。そういうときは、できるという答えを出せみたいなことはなかなかできないのですが、中身はちゃんと見ているのです。回答文も確認して、それから回答を差し上げるという仕組みにはなっています。

○閉会の挨拶（南地区町内会・自治会連合会副会長）

以上

議題3 地域環境の防犯対策の安全、安心について

投影資料

地区別 刑法犯認知件数（2024年）

1	町田第一地区	463件
2	町田第二地区	436件
3	鶴川地区	353件
4	南地区	291件
5	忠生地区	229件
6	小山・小山ヶ丘地区	188件
7	高ヶ坂・成瀬地区	139件
8	木曽地区	103件
9	玉川学園・南大谷	93件
10	相原	66件
	合計	2361件

南地区 刑法犯認知件数 上位5罪種

	2024年	2023年	2022年
1	自転車盗 69件(23.7%)	自転車盗 67件(17.4%)	万引き 55件(20.4%)
2	万引き 47件(16.2%)	詐欺 53件(13.2%)	自転車盗 35件(13.0%)
3	詐欺 39件(13.4%)	万引き 45件(11.7%)	詐欺 21件(7.8%)
4	暴行 9件(3.1%)	オートバイ盗 18件(4.7%)	オートバイ盗 11件(4.1%)
5	オートバイ盗 7件(2.4%)	暴行 13件(3.4%)	暴行 10件(2.4%)

「区市町村の町丁別、罪種別及び手口別認知件数（警視庁）」を参考に作成